



第83期  
報 告 書

(平成30年3月1日から  
平成31年2月28日まで)

岡谷鋼機株式会社

証券コード 7485

# 株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申しあげます。

当社第83期（平成30年3月1日から平成31年2月28日まで）の決算を終了いたしましたので、ここに営業の概況等をご報告申しあげます。

令和元年5月

取締役社長

岡谷 篤一



## 営業の概況

### ◆ 営業の経過及び成果

当連結会計年度における世界経済は、年後半にかけて米中貿易摩擦・英国のEU離脱問題の影響や中国経済の減速等で力強さを欠きましたが、全体として堅調な米国経済を背景に緩やかな成長が続きました。

日本経済は、年央に自然災害の影響を受けましたが、高水準な製造業の生産活動に加え、好調な企業収益を背景に総じて底堅く推移しました。

## 営業の概況

このような環境下にあって、連結売上高は9,485億円で前期比11.4%の増収となりました。損益につきましては、営業利益は209億72百万円（前期比16.4%増）、経常利益は250億2百万円（前期比11.6%増）となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は164億94百万円で、前期比9.5%の増益となりました。

当期において、グループ総合力を強化するために、国内では鉄鋼事業の中村鋼材株式会社を子会社化し、海外ではインド岡谷鋼機会社アーメダバード支店及び米国岡谷鋼機会社シカゴ支店ホプキンスビル事務所を開設しました。

また、地域の要望にも応え昭和初期竣工当時の外観を再現する形で、名古屋市の物流倉庫の建て替えに着手しました。

### ◆ 対処すべき課題

今後の見通しにつきましては、米中貿易摩擦の影響による世界的な先行き不透明感が懸念されますが、底堅く推移するものと期待されます。

また、国内では消費税増税の影響等が懸念されますが、人手不足に伴う企業の設備投資の継続等を中心に底堅さが予想されます。

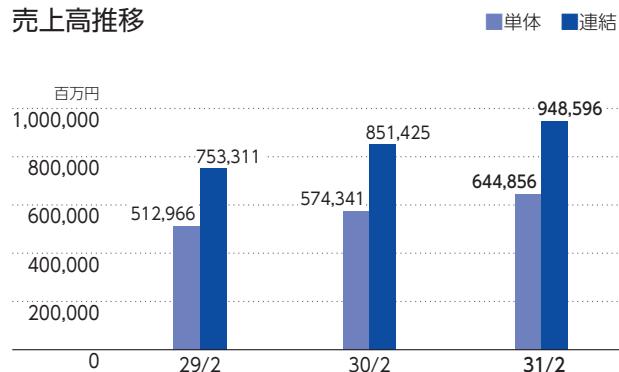
このような経済環境において、当社は国内外のグループ会社共々社会的責任を重視し、世界市場において、ものづくりに貢献する感性豊かな“グローバル最適調達パートナー”を目指し、中期計画の課題の達成に注力してまいります。

また、内部統制の充実・強化、コンプライアンスの徹底、環境に配慮した事業活動の推進など、経営品質の継続的改善にも努めてまいります。

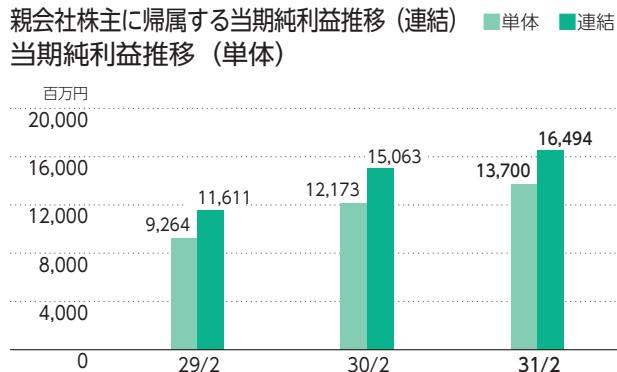
株主の皆様には、今後とも一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

# 財務ハイライト

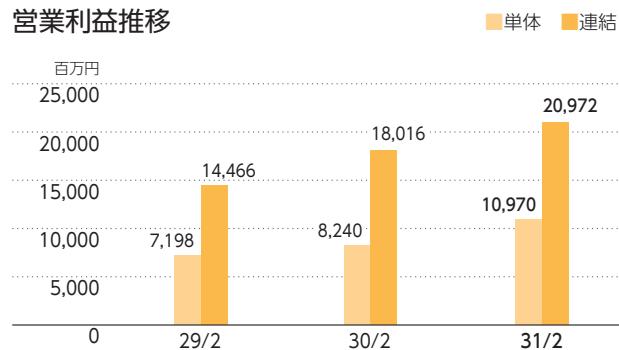
## 売上高推移



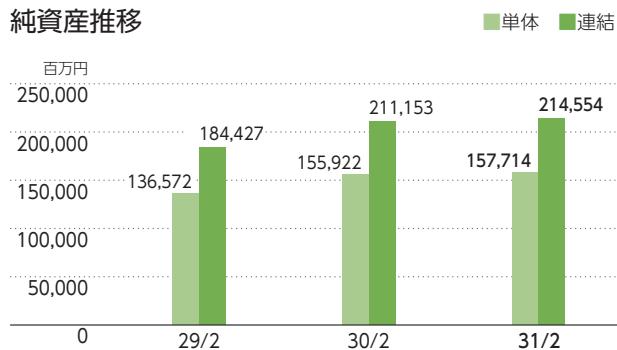
## 親会社株主に帰属する当期純利益推移 (連結) 当期純利益推移 (単体)



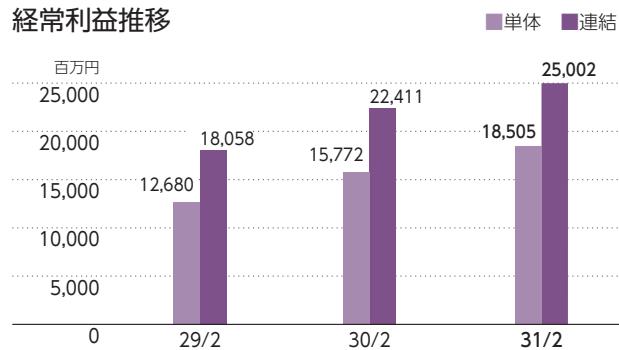
## 営業利益推移



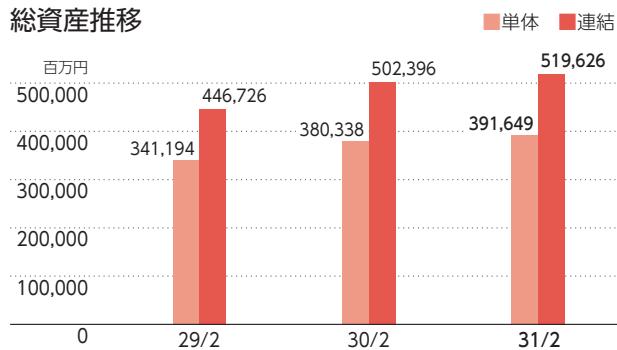
## 純資産推移



## 経常利益推移



## 総資産推移



# トピックス

## 1. 中村鋼材株式会社の子会社化

鉄鋼事業の強化を図るため、中村鋼材株式会社の株式を取得し、平成30年3月に子会社化しました。

## 2. インド岡谷鋼機会社アーメダバード支店を開設

インド岡谷鋼機会社は、平成30年3月にアーメダバード支店を開設しました。自動車産業が発展するグジャラート州において、地域に密着した営業活動を行います。



## 3. 米国岡谷鋼機会社ホプキンスビル事務所を開設

米国岡谷鋼機会社は、平成30年3月にホプキンスビル事務所を開設しました。自動車産業の集積地であるケンタッキー州において、地域に密着した営業活動を行います。



## 4. 自律型清掃ロボット「TOギャザー®」の新型機が完成

株式会社竹中工務店と共同開発した、作業所等での負担を軽減する自律型清掃ロボット「TOギャザー®」の新型機が完成し、平成30年6月に販売・レンタルを開始しました。



## 5. 鶴岡工業高等専門学校、株式会社新池田と協定を締結

鶴岡工業高等専門学校および当社グループの株式会社新池田と三者で、平成30年6月に寄付事業に関する協定を締結しました。同校に対する寄付を通じて地域課題に関連した研究やIT人材の育成を行い、地域活性化を目指します。

## 6. 物流倉庫建て替え

名古屋市中川運河沿いに保有する物流倉庫を、老朽化対策および耐震性強化のため建て替えます。歴史的価値の高い景観を維持したいとの地域の要望にも応え、昭和初期竣工当時の外観を再現します。



## 7. 義援金寄付

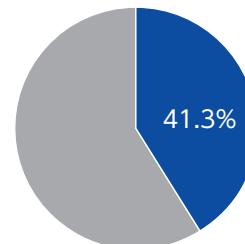
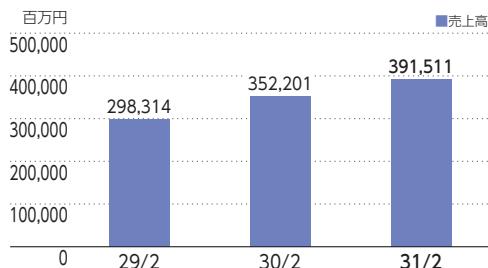
西日本豪雨災害（平成30年7月）および北海道胆振東部地震（平成30年9月）による被災者の方々に対し、グループ会社と共に総額約300万円を寄付しました。

# セグメント情報

## 鉄 鋼



鉄屑、棒鋼、鋼矢板、H型鋼、鋼板、鋼管、機械構造用炭素鋼、合金鋼、軸受鋼、工具鋼、ステンレス鋼 他



鉄鋼部門は、鋼材価格の上昇に加え、土木・建築及び製造業向けが堅調に推移しました。

特殊鋼部門は、自動車や建機・工作機械等の生産が国内外で堅調に推移し、数量も増加しました。

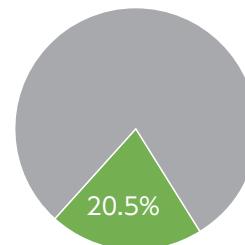
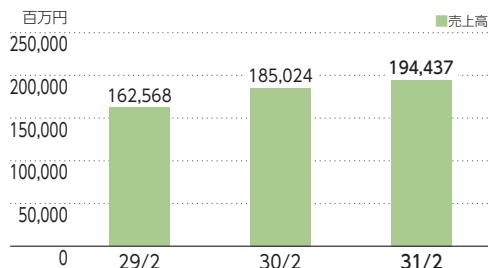
海外は、鋼材価格の上昇に加え、東南アジア向けが増加しました。

鉄鋼セグメントの売上高は、3,915億円で前期比11.2%の増収となり、順調でした。

## 情報・電機



銅・アルミ、レアアース、電子部材、汎用電機品、映像機器、半導体・周辺電子部品、ソフトウェア開発・販売 他

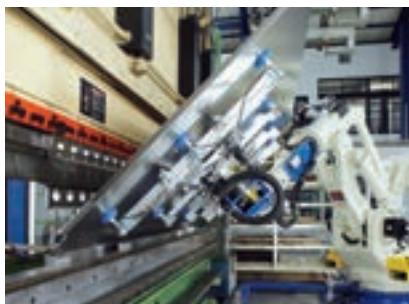


非鉄金属部門は、中国向け家電分野が減少しましたが、自動車関連が増加しました。

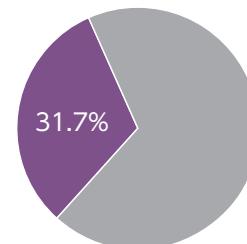
エレクトロニクス部門は、車載用電子部品及びFA関連機器などの分野で増加しました。

情報・電機セグメントの売上高は、1,944億円で前期比5.1%の増収となり、順調でした。

## 産業資材



工作機械、工具、産業用ロボット、環境・リサイクル対応設備、半導体・電子関連設備機器、航空機部材、自動車部品、合成樹脂原料、樹脂成形品 他



化成品部門は、原材料価格の上昇に加え、自動車関連向けが増加しました。

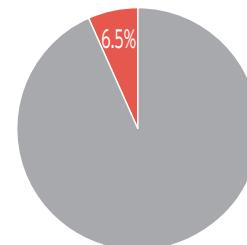
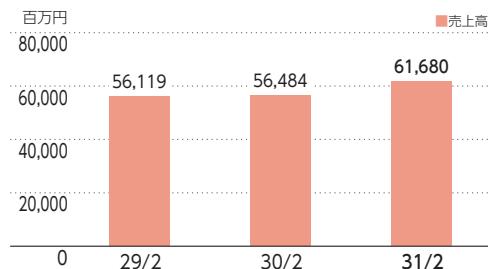
メカトロ部門は、航空機向けをはじめ、国内外で設備機械や部品・工具が大幅に増加しました。

産業資材セグメントの売上高は、3,009億円で前期比16.8%の増収となり、好調でした。

## 生活産業



配管資材、住設機器、住宅用資材、不動産開発、分譲マンション、水産物、畜産物、倉庫業 他



配管建設部門は、配管機材類及び建築物件の請負工事が底堅く推移しました。

食品部門は、水産物の輸入及び量販店向け鶏肉加工品等が増加しました。

生活産業セグメントの売上高は、616億円で前期比9.2%の増収となり、順調でした。

# 連結財務諸表

連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科目	当 期 (平成31年2月28日現在)	前 期 (平成30年2月28日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産	329,989	295,816
固定資産	189,636	206,580
有形固定資産	38,118	38,897
無形固定資産	1,247	1,267
投資その他の資産	150,270	166,415
資産合計	519,626	502,396
<b>負債の部</b>		
流動負債	253,180	239,150
固定負債	51,891	52,092
負債合計	305,071	291,242
<b>純資産の部</b>		
株主資本	145,703	131,144
資本金	9,128	9,128
資本剰余金	7,798	7,798
利益剰余金	129,242	114,674
自己株式	△ 465	△ 457
その他の包括利益累計額	59,152	70,716
その他有価証券評価差額金	55,672	66,088
繰延ヘッジ損益	△ 33	△ 180
為替換算調整勘定	493	608
退職給付に係る調整累計額	3,020	4,199
非支配株主持分	9,698	9,293
純資産合計	214,554	211,153
負債純資産合計	519,626	502,396

連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	当 期 (平成30年3月1日から 平成31年2月28日まで)	前 期 (平成29年3月1日から 平成30年2月28日まで)
売上高	948,596	851,425
売上原価	884,663	792,215
売上総利益	63,932	59,210
販売費及び一般管理費	42,960	41,193
営業利益	20,972	18,016
営業外収益	6,880	6,501
営業外費用	2,850	2,107
経常利益	25,002	22,411
特別利益	28	22
特別損失	558	482
税金等調整前当期純利益	24,471	21,951
法人税、住民税及び事業税	6,929	6,599
法人税等調整額	292	△ 418
当期純利益	17,249	15,770
非支配株主に帰属する当期純利益	755	707
親会社株主に帰属する当期純利益	16,494	15,063

連結株主資本等変動計算書（要旨）

（単位：百万円）

当 期 (平成30年3月1日から 平成31年2月28日まで)	株主資本					その他の包括利益累計額					非支配 株主持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証 券評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	退職給付に係 る調整累計額	その他の包括 利益累計額合計		
平成30年3月1日残高	9,128	7,798	114,674	△ 457	131,144	66,088	△ 180	608	4,199	70,716	9,293	211,153
当期の変動額												
剰余金の配当			△ 1,926		△ 1,926							△ 1,926
親会社株主に帰属する当期純利益			16,494		16,494							16,494
自己株式の取得				△ 5	△ 5							△ 5
持分法適用会社に対する持分変動に伴う自己株式の増減				△ 2	△ 2							△ 2
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		△ 0		△ 0	△ 0							△ 0
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）						△ 10,416	146	△ 115	△ 1,179	△ 11,563	405	△ 11,158
当期の変動額合計		△ 0	14,567	△ 8	14,559	△ 10,416	146	△ 115	△ 1,179	△ 11,563	405	3,400
平成31年2月28日残高	9,128	7,798	129,242	△ 465	145,703	55,672	△ 33	493	3,020	59,152	9,698	214,554

（注）記載金額については、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

# 単体財務諸表

単体貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科目	当 期 (平成31年2月28日現在)	前 期 (平成30年2月28日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産	222,502	196,947
固定資産	169,146	183,390
有形固定資産	24,430	24,867
無形固定資産	731	767
投資その他の資産	143,985	157,755
資産合計	391,649	380,338
<b>負債の部</b>		
流動負債	187,702	178,159
固定負債	46,232	46,256
負債合計	233,934	224,415
<b>純資産の部</b>		
株主資本	102,911	91,142
資本金	9,128	9,128
資本剰余金	7,798	7,798
利益剰余金	86,434	74,661
自己株式	△ 449	△ 445
評価・換算差額等	54,803	64,779
その他有価証券評価差額金	54,830	64,953
繰延ヘッジ損益	△ 27	△ 173
純資産合計	157,714	155,922
負債純資産合計	391,649	380,338

単体損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	当 期 (平成30年3月1日から 平成31年2月28日まで)	前 期 (平成29年3月1日から 平成30年2月28日まで)
売上高	644,856	574,341
売上原価	615,459	547,363
売上総利益	29,397	26,977
販売費及び一般管理費	18,427	18,737
営業利益	10,970	8,240
営業外収益	8,726	8,464
営業外費用	1,190	932
経常利益	18,505	15,772
特別利益	6	113
特別損失	444	506
税引前当期純利益	18,068	15,379
法人税、住民税及び事業税	3,955	3,464
法人税等調整額	412	△ 257
当期純利益	13,700	12,173

単体株主資本等変動計算書（要旨）

（単位：百万円）

当 期 (平成30年3月1日から 平成31年2月28日まで)	株主資本					評価・換算差額等				純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等合計		
平成30年3月1日残高	9,128	7,798	74,661	△ 445	91,142	64,953	△ 173	64,779	155,922	
当期の変動額										
剰余金の配当			△ 1,926		△ 1,926			—	△ 1,926	
当期純利益			13,700		13,700			—	13,700	
自己株式の取得				△ 4	△ 4			—	△ 4	
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					—	△10,123	146	△ 9,976	△ 9,976	
当期の変動額合計	—	—	11,773	△ 4	11,769	△10,123	146	△ 9,976	1,792	
平成31年2月28日残高	9,128	7,798	86,434	△ 449	102,911	54,830	△ 27	54,803	157,714	

（注）記載金額については、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

# 岡谷鋼機のCSR－経営的側面－

当社は、世界市場の中で、ものづくりに貢献する活動を通じて、あらゆるステークホルダーに受け容れられる企業であり続けたいと考えます。地球市民としての自覚を持ち、地球環境に配慮した視点で、『グローバル最適調達パートナー』としての総合力を発揮することにより社会的責任を果たし、持続的発展を目指してまいります。

## ◆ 当社のCSRに対する基本的な考え方

1. 持続可能な成長を目指し、社会的責任を果たすとともに、経営品質の継続的改善、内部統制の充実・強化に努めることにより、企業価値を高める。
2. 株主に対して、最大限の還元を行うべく努力する。
3. 国の内外を問わず人権を尊重し、関係法令、国際ルールおよびその精神を遵守する。
4. 岡谷鋼機グループ環境方針に則り、自主的、積極的に行動する。
5. 社員に対して、公正な処遇を実施し、多様な自己啓発の機会を提供する。
6. 良き地球市民として、地域および社会に対し貢献活動を行う。

※これらの内容は「企業行動憲章」にも記載されております。全文は当社ホームページをご参照ください。( <https://www.okaya.co.jp/> )

## ◆ 当社のCSRのルーツ

天保7年（1836年）秋、6代惣助は笹屋の経営方針および日常の心得として「店則」「家則」などを掲げ、さらに毎朝就業前に全員で唱和する「日誦五則<sup>にっしょうごそく</sup>」を定め、実践しました。これらは、現代におけるCSRの精神に相通じるものであり、笹屋の店員としての業務・営業姿勢を方向付け、商いの繁栄に寄与したと考えられております。

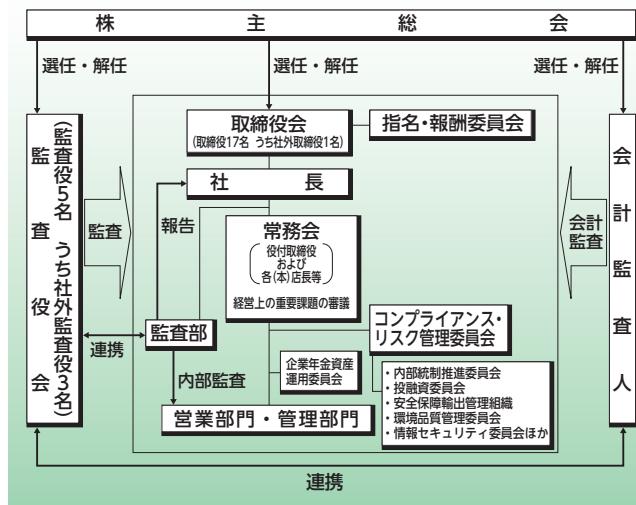
# 岡谷鋼機のCSR－経営的側面－

## ◆ コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

当社は、商社としての社会的責任を自覚し、コーポレート・ガバナンス、コンプライアンスおよびリスク管理を経営の重要な課題と位置付けております。社員一人一人の行動が、当社への信頼を生み出し持続的な成長をもたらす重要な要素と認識し、より高い倫理観に根ざした事業活動を行う企業風土の構築を目指しております。

また、課題達成のためのインフラとして内部統制システムを位置付け、継続的に充実・強化を図っております。

【コーポレート・ガバナンス体制図】



## ◆ 経営品質の向上について

「サービス品質」の向上を図りお客様のご要望、ご期待に応えるべく、当社では品質方針を掲げ品質マネジメントシステムを全社システムとして構築し、ISO9001の認証を取得しております。当社以上の規模の商社において、全社的なISO9001の認証取得は他にあまり例がありません。今後とも品質マネジメントシステムの運用を通じて、「サービス品質」および「業務品質」を向上させ、さらには「経営品質」を高めてまいります。

## ◆ コンプライアンスについて

社内にコンプライアンス・リスク管理委員会を設け、コンプライアンスの徹底と実践に努めております。また、社会から信頼される企業であり続けるために法令遵守と企業倫理について具体的に記載した「コンプライアンスマニュアル」を作成し、全社員に配布するとともに、各種講習会を開催し、法令遵守に努めております。

# 岡谷鋼機のCSR—社会的側面—

## 〔社員とともに〕

### ◆ 女性の活躍推進への取組

平成29年1月に名古屋市より、「子育て支援企業」（子育てにやさしい活動に取り組んでいる企業）、および「女性の活躍推進企業」（女性の活躍推進に取り組んでいる企業）のダブル認定を受けております。

### ◆ 海外研修制度

若手社員の海外研修として、3ヶ月間海外の語学学校で勉強を行う「海外語学研修」を取り入れております。

### ◆ 禅寺研修

心の教育の一環として、新入社員を対象に、禅寺研修を行いました。僧侶からの法話、座禅、写経などを通して、自らを客観的に見つめ直し、感謝と我慢の心を学びました。

## 〔地域とともに〕

### ◆ 三重県紀宝町でのボランティア

浅里地区において、田植えや稲刈りなどのボランティア活動を平成25年以降継続して行っております。過疎化、高齢化が進む同地区と「農山村活性化の取組に関する協定書」を締結し、継続的な支援活動や交流を行っております。



紀宝町でのボランティア活動

### ◆ 公園での植樹活動を支援

上海岡谷鋼機有限公司は、上海市民の憩いの場である公園での植樹活動に寄付しました。今後1年間、園内のクスノキ50本が育てられます。

### ◆ 日本語スピーチコンテストを開催

平成30年9月に現地法人5社（広州・上海・北京・香港・台湾）は、日本語スピーチコンテストを、広州にある暨南大学開催しました。今回で5回目の開催となり、現地大学生21名が参加しました。

### ◆ チャリティーコンサート開催

社会貢献活動の一環として、日本特殊陶業市民会館フォレストホールにおいて「OKAYA CHARITY CONCERT 2018 ～感謝の夕べ～」を開催しました。多くの皆様にご賛同いただき、チケット売上金を社会福祉法人愛知県共同募金会に募金しました。



チャリティーコンサート

# 岡谷鋼機のCSR—環境的側面—

当社は、地球環境と事業活動との密接なかかわりをよく認識のうえ、地球環境の保全と経済社会の持続的な発展を常に念頭に置き、環境への取組みを進めております。

## ◆ 環境ISO14001認証の取得

当社は平成11年9月に環境宣言を行い、それ以降、岡谷鋼機グループ環境方針に沿って環境マネジメントシステムを構築し、環境保全活動に取り組んでおります。平成12年6月に審査登録機関LRQA（ロイド・レジスター社）の審査に合格し、環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001の認証を取得しました。以降、引続きグループ会社を含め認証サイトを拡大しております。

【ISO14001グループ認証書】



## ◆ 継続的改善に向けて

当社では、環境品質管理規程に則り、PDCAサイクルによる活動を実施し継続的改善に取り組んでおります。

これらの活動状況は、内部監査員による監査で年一回確認し、さらに、外部審査機関による審査で半年ごとに確認しています。また、この結果は、経営層に報告し、見直しを行います。

## 利益配分に関する基本方針および株主優待について

### 1. 配当政策

当社グループは、株主に対する利益還元を企業経営の重要政策の一つと考えており、競争力を維持・強化して株主資本の充実に努めつつ、配当を行うことを基本方針としております。

### 2. 株主優待

当期（平成31年2月期）株主優待として、期末保有株式数100株以上の株主様に、《愛知県産米 山の幻ミネアサヒ5kg》をお贈りいたします。

また、第2四半期末保有株式数200株以上の株主様に、《愛知県産米 山の幻ミネアサヒ5kg》をお贈りいたします。

なお、長期保有株主様向け優待として、半期毎（2月末および8月末）の最終株主名簿に同一株主番号で連続6回以上記載されていることを条件とし、毎年2月末日現在における最終株主名簿に記載された保有株式数100株以上の株主様に対して、『図書カード』2,000円相当を、および毎年8月末日現在における最終株主名簿に記載された保有株式数100株以上の株主様に対して、『図書カード』1,000円相当をお贈りいたします。





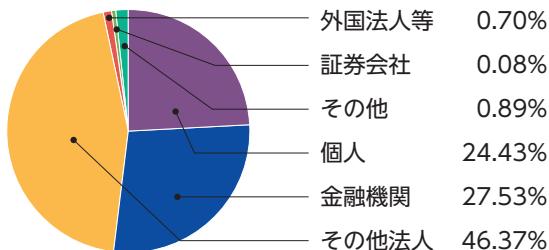
# 株式の状況 (平成31年2月28日現在)

## 株式の状況

株式数	
発行可能株式総数	35,571,200 株
発行済株式の総数	9,720,000 株
株主数	3,558 名

## 株式分布状況

### 所有者別割合



## 大株主の状況

株主名	持株数 千株	持株比率 %
岡谷不動産株式会社	1,214	12.60
岡谷篤一	482	5.00
株式会社三菱UFJ銀行	462	4.80
新日鐵住金株式会社	424	4.40
三井住友信託銀行株式会社	402	4.17
株式会社りそな銀行	265	2.75
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	251	2.60
岡谷鋼機社員持株会	191	1.98
オークマ株式会社	163	1.69
公益財団法人真照会	138	1.44

- (注) 1. 持株比率は自己株式 (86,582株) を控除して計算しております。  
 2. 新日鐵住金株式会社は、平成 31 年 4 月 1 日に日本製鉄株式会社となりました。  
 3. 公益財団法人真照会は、将来社会に貢献し得る人材を育成し、併せて学術・技芸の振興を図るために必要な奨学援助をなすことを目的として、大正 6 年に創設されました。

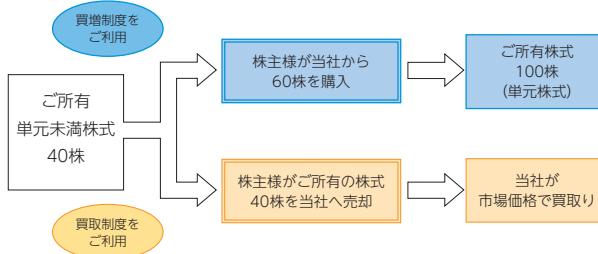
# 株式に関するお知らせ

## 単元未満株式の買取・買増請求について

当社の株式は1単元が100株となっており、単元未満株式(1~99株)については市場での売買はできませんが、当社に対して買取請求(売却)、または100株(1単元)となるよう買増請求(購入)をすることができます。お手続きの方法および用紙のご請求は、裏面記載の連絡先にお申し出ください。

### 【単元未満株式買増・買取制度例】

○単元未満株式40株をご所有の株主様の場合



## 特別口座から証券会社の口座への振替申請について

特別口座\*に記録されている株式については、特別口座のままでは売買できません(単元未満株式を除く)。様々なお手続きを円滑に行うためにも証券会社の口座への振替申請をお勧めします。



※特別口座  
株券電子化前にほふり(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった場合に、当該株式が記録される口座です。

## 株主メモ

事業年度 毎年3月1日から翌年2月末日まで  
 定時株主総会 5月  
 配当金支払株主確定日 期末配当 2月末日  
 中間配当 8月31日  
 公告の方法 電子公告  
 ただし、電子公告によることができない  
 やむを得ない事由が生じたときは、日本  
 経済新聞に掲載いたします。

電子公告掲載ホームページアドレス

[https://www.okaya.co.jp/ir/public\\_notice/](https://www.okaya.co.jp/ir/public_notice/)

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
 三井住友信託銀行株式会社  
 連絡先 〒168-0063  
 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)  
 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の  
 全国本支店で行っております。

## ホームページのご案内

岡谷鋼機のホームページでは、決算短信  
 等の詳しい財務データや各種IR情報を掲載  
 しています。  
 是非一度ご覧ください。



・岡谷鋼機ホームページアドレス  
<https://www.okaya.co.jp/>

## 株式に関するお手続きについて

株式に関するお手続きは、①証券会社の口座に記録されている場合と、②特別口座に記録されている場合で、下記のとおり異なりますので、該当の窓口にお問い合わせください。

証券会社の口座に記録された株式	
お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先
<ul style="list-style-type: none"> <li>単元未満株式の買取・買増請求</li> <li>届出住所・姓名などのご変更</li> <li>配当金の受領方法・振込先のご変更</li> </ul>	口座を開設されている 証券会社
<ul style="list-style-type: none"> <li>郵送物の発送と返戻に関するご照会</li> <li>支払期間経過後の配当金に関するご照会</li> <li>株式事務に関する一般的なお問い合わせ</li> </ul>	三井住友信託銀行 株式会社証券代行部

特別口座に記録された株式	
お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先
<ul style="list-style-type: none"> <li>単元未満株式の買取・買増請求</li> <li>特別口座から証券口座への振替請求</li> <li>届出住所・姓名などのご変更</li> <li>配当金の受領方法・振込先のご変更</li> </ul>	三井住友信託銀行 株式会社証券代行部
<ul style="list-style-type: none"> <li>郵送物の発送と返戻に関するご照会</li> <li>支払期間経過後の配当金に関するご照会</li> <li>株式事務に関する一般的なお問い合わせ</li> </ul>	

## 「配当金計算書」について

配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねて  
 おります。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。ただし、株式数比例配分  
 方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社にて行われます。確定申告  
 を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。

なお、配当金領収証にて配当金をお受取の株主様につきましても、配当金支払いの都度「配当金計算書」を同封  
 させていただきます。

確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。